

いろいろな文学賞

(※ここに掲載している賞はごく一部です)

芥川賞 (芥川龍之介賞) とは (参考: 公益財団法人 日本文学振興会HP)

賞ができた由来

文藝春秋の創業者・菊地寛が、友人である芥川龍之介の名を記念し、昭和10年に制定。

対象作品

前年12月から5月まで・6月から11月までに、雑誌(同人雑誌含む)に発表された、新進作家による純文学の中・短編作品の中から選ばれる。

授賞時期 7月・1月(年2回)

直木賞 (直木三十五賞) とは (参考: 公益財団法人 日本文学振興会HP)

賞ができた由来

文藝春秋の創業者・菊地寛が、友人である直木三十五の名を記念し、昭和10年に制定。

対象作品

前年12月から5月まで・6月から11月までの中で発刊された、新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本(長編小説もしくは短編集)の中から選ばれる。

授賞時期 7月・1月(年2回)

担当者
おすすめ



『鍵のない夢を見る』辻村深月

文藝春秋、2012年

放火に万引き、育児ノイローゼ……日常にひそむ、人間のリアルな感情を描いた、少しこわくもなる短編集。
第147回直木賞受賞作品。

本屋大賞 (全国書店員が選んだ いちばん! 売りたい本 本屋大賞) とは (参考: 本屋大賞HP)

賞ができた由来

本と、顧客である読者を最も知る立場にいる書店員が、売れる本を作っていく、本が売れない時代に、現場から盛り上げていこうと2004年に設立。

対象作品

前年12月から11月の間に刊行された日本の小説(オリジナルのもの)の中から、新刊書の書店で働く書店員が投票。

授賞時期 4月上旬

担当者
おすすめ



『舟を編む』三浦しをん

光文社、2011年

辞書編纂の編集部が舞台。個性豊かな登場人物たちの仕事や恋愛模様に加えて、辞書作りの過程が描かれる。本や言葉が好きな読者には興味深い一冊。
2012年大賞受賞。

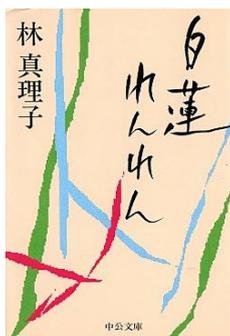
●柴田錬三郎賞とは(参考:集英社HP)

賞ができた由来: 故柴田錬三郎の業績を称えて、集英社主催、一ツ橋綜合財団後援のもと、1988年に創設。

対象作品: 前年7月から6月末までに刊行された小説の中より選出。

授賞時期: 11月

担当者おすすめ



『白蓮れんれん』林真理子、中央公論新社、1994年

天皇の従妹にして炭鉱王に再嫁した歌人柳原白蓮。彼女の運命を変えた帝大生宮崎龍介との往復書簡七百余通から甦る、大正の恋物語。1995年受賞。

●山田風太郎賞とは(参考:角川書店HP)

賞ができた由来: 戦後日本を代表する大衆小説作家、山田風太郎の独創的な作品群と、作家的姿勢への敬意を礎に、有望な作家の作品を発掘顕彰するために2010年に創設。

対象作品: 9月から翌年8月末までに刊行された日本の小説作品。長編、短編集、連作短編集等、ジャンルも問わず。

授賞時期: 10月

●ノーベル文学賞とは(参考:『現代用語の基礎知識2017』自由国民社)

賞ができた由来: スウェーデンの化学者アルフレッド・ノーベルの遺言により設立されたノーベル財団から、含めた全6部門で賞が贈られる。

対象作品: 作品に限らず、めざましい功績のあった人物・組織が対象となる。

授賞時期: 10月

担当者おすすめ



『わたしを離さないで』カズオ・イシグロ、早川書房(日本語版)、2006年

青春を楽しむ学園の寄宿舎生活かと思いきや、登場するのは介護人? 提供者? これは一体何の話か。生まれ方により生き方を決められる世界を描く。カズオ・イシグロ氏は2017年受賞。